

令和4年度政務活動費調査研究報告書

提出日 令和4年5月25日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	国兼 久子 (☎080-5539-5680)
参加者	国兼 久子		
区分	<input type="checkbox"/> ①研修 <input type="checkbox"/> ②視察 <input checked="" type="checkbox"/> ③広聴 <input type="checkbox"/> ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	①5月24日(火) 午前10時00～午前12時 00分	会場：大和市渋谷学習センター 307会議室 (大和市渋谷5丁目22 IKOZA3F) 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月議会報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し議会運営の理解を深めるとともに生活と政治を身近に感じてもらう。 ・所属する委員会等の活動を報告し、議員の活動の理解を深める。 ・地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案、一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。 	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大和市議会3月議会報告 2. 地域からの課題と提案 	
成果等 (市に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月議会の報告を通して、広く市政情報を伝えることができた。 ・第2層協議体として、実績を積んでいる中央5丁目の「大和中央地区支え合い協議会」の生活支援コーディネーター(支え合い推進員)の方から生活支援体制整備事業についてお話を伺うことができた。 ・すでに、草むしりや買い物支援、ゴミ屋敷となったお宅の片づけなど生活の中の困りごとを地域の登録ボランティアの方とともに安価な料金でサービス提供されており、マッチングの工夫はとても参考になった。 ・地域に必要なサービスであるが、理解が広がるまでには時間がかかったが、地域の資源(自治会長、地域包括も担う晃風園や地区社協)との良好な関係、人生100年推進課職員も積極的に関わるなど、コロナ禍でも協議体の活動を支える体制が丁寧に作られていった経過は、協議体未設置の地域への参考になり、議会でも提案したいと思った。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい試みとして、晃風園のケアラーカフェに支えあい支援員も入り、困ったときの相談先として協議体の話をする機会をもらっているようで、このような結びつきがあるのは強みになる。地域の特性に合った協議体づくりの一例として参考にしたい。 ・福田北地区のここサポでも、ボランティアによる生活支援サービスが始まっているようで、市内の取り組みをフォーラム形式で行うことを再度行政に提案し実現したい。 ・地域で見守りが必要な高齢者が増える中、支える側も高齢者に頼らざるを得ない状況があるが、議会で支えあいの地域づくりを提案する必要があると感じた。 ・コロナ禍、三密を避けながらこれからも報告会は地域ごとに行っていきたい。市政について意見交換できる機会を設けることで直接市民の声をいただくことができ、お互いに有意義な時間だった。
<p>事業費</p>	<p><u>2,178円</u> (会場費：1,800円、交通費：378円)</p>

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること